

施策・基本事業評価表

作成日 平成 24 年 8 月 16 日

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
主管課名	建設課	主管課長名	宮崎 信一
関係課名	都市計画課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が整備され、朝夕の交通渋滞が解消されています。 ・身近な生活道路が整備され、毎日の通勤、通学や買い物などが便利になっています。 ・道路の維持管理や除雪が適切に行われ、安全で円滑な交通が確保されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な道路のごみ拾いや除草などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬季間の円滑な道路交通確保に協力します。
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幹線道路網の整備を計画し、事業の実施に努めます。 ・住民生活に密着し、緊急性・重要性の高い生活道路の整備に順次取り組みます。 ・きめ細かな維持・管理を行い、安全で快適な道路環境の確保に努めます。
	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで道路の除草や側溝清掃などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号バイパスは、滑川、富山方面へのアクセスは向上しましたが、今後のさらなる利便性の向上や黒部、入善方面への渋滞の早期解消が課題です。市内を結ぶ主要な県道・市道は、歩道の整備された路線が少なく、安全な道路環境の確保が必要です。 ・郊外での宅地開発により造成された住宅団地やアパートなどと幹線道路を結ぶ道路の交通量が増加しており、市民の暮らしに密着した生活道路の整備が求められています。 ・路上工事や道路補修に対する問い合わせや要望が多く、効率的で適切な維持管理が求められています。また、除雪路線の拡充や消雪施設の整備など、冬季間の円滑な道路交通の確保が必要です。
--------------------	---

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
-------	----	-----	------------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
幹線道路の整備		市内幹線道路網の骨格となる国道や主要県道の整備促進を図るとともに、都市計画道路の見直しや幹線市道の計画的な整備を進めます。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
道路改良事業		計画的に幹線市道の整備を進め、市内幹線道路のネットワーク化を図ります。								
都市計画道路見直し事業		社会情勢や地域の実情を反映したまちづくりを進めるため、未整備となっている都市計画道路の見直しを行います。								
国道・県道路整備促進事業		道路関係同盟会などを通じて、国や県に対して道路予算の確保や事業制度の拡充を求め、幹線道路の整備促進を図ります。								
基本事業①の目的【意図】		幹線道路が整備され渋滞が解消されるとともに、近隣市町に短時間で行き来できるようになっています。								
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合		%	58.1	58.3	46.7	46.9	47.1	47.3	53.5	55.0
市内の道路改良率(国・県・市道)		%	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	80.0	80.1	80.5
				79.4	79.7					
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
生活道路の整備		市民の暮らしに密着した生活道路の整備を、計画的に行います。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
市道改良舗装事業		住民生活に密着した市道の改良や舗装を計画的に行います。								
土地区画整理事業		土地区画整理により、地域住民の生活道路である市道などを整備します。								
市道バリアフリー事業		市道改良事業などに併せて道路の段差解消などを行い、歩行者や自転車の通行の安全性を確保します。								
基本事業②の目的【意図】		身近な道路が整備され、毎日の生活が便利になっています。								
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
市道の改良率		%	75.9	76.0	76.1	76.2	76.3	76.4	76.5	77.0
				76.1	76.4					
市道の舗装率		%	93.5	93.6	93.7	93.7	93.8	93.9	94.0	94.5
				93.7	93.9					
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
道路維持管理体制の強化		路上工事や通行制限状況を的確に把握し、市ホームページなどで随時情報発信を行うとともに、道路の維持・補修や除雪体制の強化、資機材の充実を図ります。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
市道維持補修事業		老朽化し、安全な道路交通に支障となる道路の維持補修を行います。								
雪寒地域道路事業		水資源に配慮しながら、消・融雪施設の整備を進めます。								
道路除雪体制の充実		除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しを進めます。								
基本事業③の目的【意図】		充実した道路の維持・管理や除雪体制によって、安全で円滑な交通が確保されています。								
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
苦情・要望のあった道路補修の実施率		%	74.1	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	85.0
				80.3	90.6					
市内の道路除雪延長(国・県・市道)		km	375.6	376.3	377.0	377.7	377.7	381.7	382.1	382.6
				380.3	381.4					
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の道路に対する満足度は、平成22年度46.5%に対し平成23年度44.3%と2.2ポイント下がっています。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路改良率及び市道の改良・舗装率の平成23年度実績値は共に目標値を達成しました。 ◆苦情・要望のあった道路補修の実施率は、平成22年度80.3%に対し平成23年度90.6%と10.3ポイント増加しています。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路除雪延長は、平成22年度380.3kmに対し平成23年度381.4kmと1.1km増加しています。 		
イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)			
◆平成23年4月1日付け「道路現況調査資料(富山県)」の公道(国、県、市道)の魚津市と県内市計を比較すると、改良率は同水準であるが道路幅員が狭い道路の割合がやや多く、また、舗装率はやや高いものの簡易なものが多い状況が伺えます。			
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
◆幹線道路については、通勤通学時の慢性的な渋滞解消と歩行者の安全通行が望まれています。生活道路についてはある程度整備されていますが、老朽化が進み住民から修繕の要望が絶えない状況であります。また、除雪路線の拡充とよりきめ細かな作業実施の要望が多く寄せられています。			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括			
(ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)			
◆幹線道路の整備			
・国道では、滑川魚津バイパスの立交差点から佐伯立交差点間の4車線化工事が完了し、平成22年12月に供用開始されました。			
・県道では、宇奈月大沢野線片貝川の架橋工事が順次着工され、青柳～石垣新区間の供用開始に向け整備が進められています。			
・市道は、吉島中川側線の北鬼江交差点から北鬼江西交差点までの拡幅改良と消雪施設の整備が完了し、幹線道路のネットワーク化が図られました。			
◆生活道路の整備			
・住民生活に密着した市道の改良や舗装を行いました。			
・経田中央地区土地区画整理事業区域内で延長529mの市道を整備し、住宅密集地の道路環境の改善を図りました。			
・魚津駅前広場からありそドームに通じる市道魚津駅地下道線及び市道本新魚津駅線外のバリアフリー化を行いました。			
◆道路維持管理体制の強化			
・苦情・要望のあった市道の維持補修について速やかな対応に努め、安全な道路交通の確保に努めました。			
・金浦町の市道3路線に消雪施設を設置し、冬季間の道路交通の安全確保を図りました。			
・除雪機械と除雪作業受託業者を確保しつつ、約244kmの市道除雪を行いました。			
3. 施策の課題認識及び24年度の取り組み状況(予定)			
(23年度末で残った課題、既に24年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
◆幹線道路の整備として、経田地区において国道8号入善黒部バイパスの建設工事が引続き進められる予定であります。県道は、宇奈月大沢野線外6路線で道路改良事業が計画されています。また、市道吉島10号線などの補助幹線道路について整備を進める予定であります。			
◆生活道路の整備については、住民生活に密着した市道の改良、舗装工事を計画的に進めると共に経田中央地区土地区画整理事業区域内の道路も整備を進める予定であります。			
◆道維持管理体制の強化では、市道の維持補修の速やかな対応を引続き行うと共に除雪機械と除雪作業受託業者の把握や富山県との連携除雪作業等の協議を進め、今冬の除雪態勢確立に努めます。			
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※施策の重要度※		
	通常		
市民の道路に対する満足度は2.2ポイント下がっていますが、市内の道路改良率、道路補修の実施率や道路除雪延長などの平成23年度実績値は目標を達成しています。			
しかしながら、道路は市民にもっとも身近な社会資本であり、道路の整備や維持補修等について依然として多くの要望が寄せられており、今後とも施策を推進します。			
冬季間の交通を確保するため、引き続き除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しと消融雪施設の拡充を進めます。			
経営戦略会 議における 施策の課題 及び方針	・舗装や側溝の更新時期の集中を避けるため、事後的な補修・修繕に加え、予防的な補修・修繕を行い、道路施設の長寿命化を進めます。		
	・冬季の交通を確保するため、引き続き除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しと消融雪施設の拡充を進めます。		